

令和5年度（第72回）事業計画

第1. 事業運営方針

会員企業や健康保険組合等に所属する労働者およびそのご家族や、地域住民の健康を守るという理念のもと、次の事業運営方針とします。

1. 感謝の気持ちを忘れることなく、医療精度の維持・向上を図り、顧客のニーズに対応した健康管理・安全管理等の予防事業を強化します。
2. 健康経営・SDGsに取り組み、生産性の向上、職員の創造力の醸成や法人イメージの向上を目指します。
3. お客様の求めるサービスを考え、健診結果報告等の日数短縮化やデジタル化を推進します。
4. 当期収入を112億円、当期利益を2.7億円確保します。

第2. 令和5年度予算計画

収入面では、新施設の山科健診クリニックオープンを4月に予定している他、出張・施設の予防健診事業の伸びを見込んでいます。一方で、新型コロナワクチン接種事業に関しては、令和5年3月31日に終了予定となっており、令和5年度のワクチン接種事業の受託は見込んでいません。

以上の要因から、事業収入は112億9,360万円で計画しました。

支出面では、光熱費や用紙代、パソコン関連機器などの値上げや、施設の拡充や設備更新に伴う費用が増加する他、通信ネットワークの強化、受診者サービス向上のためのシステム開発、検診車の整備などへの投資を行います。

以上の要因から事業費用は110億1,280万円で計画しました。

この結果、令和5年度の当期利益は2億7,200万円を見込みます。

第3. 重点課題

令和5年度 部門別事業計画

1. 診療部（医療事業）

受診者の満足度に配慮した受診者中心の医療サービスを提供します。
精密検査の受診率向上を目指します。

2. 出張健診（予防健診事業）

顧客ニーズを把握できる体制を整備し、サービス向上を図ります。
出張健診に限らず当会全事業の提案ができる渉外職員を育成します。
健診結果報告の早期化対応を行います。

3. 施設健診（予防健診事業）

質の高い保健サービスを提供し、顧客のQOL向上に寄与します。
事業の拡大、経費の削減により収益向上を図ります。
業務効率化と有効な人材活用を推進します。

4. 環境保健部（検査・指導事業）

新規事業場を開拓し、市場の拡大を推進します。
信頼性の確保を最優先として、精度向上を追求します。

5. 産業保健推進部（検査・指導事業）

質の高い産業保健サービスを提供し、顧客企業の「ウェルビーイング経営」推進を支援します。
ICTを活用して遠隔産業保健サービスの提供を促進します。
産業保健スタッフとしての高い専門性を養います。

第4.健康経営の取り組み

当会の理念を実現し、継続的に成長することを目的とし、健康を経営課題ととらえ、具体的な健康課題に取り組み、職員の健康の保持・増進、労働生産性の向上、組織の活性化に繋がります。

【目標指数】

- ・ワークエンゲージメントの向上
- ・プレゼンティーズムの低減
- ・アブセンティーズムの低減

(1) 重大疾病の早期発見・予防

がん検診受診率向上への取り組み
産業保健スタッフによる健康診断後の精密検査受診状況の把握およびハイリスク者への受診勧奨

(2) ヘルスリテラシーの向上

健康関連をテーマとしたeラーニングの定期的な実施

(3) 健康保持・増進施策

運動習慣定着に向けた取り組み（ウォーキングキャンペーンの実施）
禁煙への取り組み（「禁煙マラソン」の実施）
健康課題への取り組み（運動機能のチェック、職場環境の改善）
治療と仕事の両立支援への取り組み
部活動への援助

(4) メンタルヘルス対策

ストレスチェック実施率の向上
管理職に対するラインケア研修の実施
職員に対するセルフケア研修の実施
全部門職場改善施策の立案と実施
産業保健スタッフによるフォローと相談窓口の設置

(5) 感染症対策

各種感染症への適切な対策の実施
各種ワクチンへの補助（带状疱疹ワクチン・インフルエンザワクチン）

ワークエンゲージメント
主に従業員のメンタル面の健康度を示すもので、主体的に仕事に取り組んでいる心理状態
プレゼンティーズム（疾病就業）
心身の健康問題を抱えつつも仕事（業務）を行っている状態
アブセンティーズム
心身の健康問題により仕事を休業している状態
ヘルスリテラシー
健康や医療に関する正しい情報を入手し、理解して活用する能力のこと。

第5.SDGsの取り組み

「持続可能な開発目標（SDGs）」と当会の設立当初からの理念をつなげ、健康診断、診療、産業保健、環境測定および公益活動の5つ全ての分野で具体的なアクションに取り組むことで、持続可能でより良い社会の実現に貢献します。

- (1) 疾病の予防、治療の実践及び普及活動を通して、人類の福祉に貢献
 - がん対策推進企業アクション（厚生労働省）の推進
 - 必要な医療を受ける機会が制限されることのないように無料低額診療事業を実施
 - HIV感染症根絶のための検査の支援
 - メンタルヘルス事業を推進し、労働者の精神保健及び福祉を促進
 - 環境計量証明事業・作業環境測定事業を通じて、職場環境保全に貢献
 - 化学物質管理についての適切な助言を行い、有害化学物質による死亡及び疾病を減少
 - 受診者数に応じポリオワクチン接種相当額をユニセフに寄付

- (2) クリーンエネルギーを活用し、環境に配慮した事業運営
 - 検診車に蓄電池を搭載し、健診中のCO₂排出を抑制
 - 業務車両を順次、EV車・ハイブリッド車に移行
 - 業務用自転車の利用促進
 - ゴミ分別・リサイクル推進とそれに伴う職員の環境意識向上
 - デジタル化推進による紙使用量削減（問診票・健診結果報告・請求書）
 - 環境負荷の低い消耗品の選択

- (3) 医療教育の実施と自律型人材の育成
 - 学生実習を受け入れ、医療教育を実施
 - 地域の医療系団体と協力し、職員及び周辺医療系学校に医療教育を実施
 - 職員へSDGsについての教育を実施（アイデアコンテストの開催）